

法人名	NPO法人 あったかほーむ愛あい	代表者	横山美智子	法人・ 事業所 の特徴	当法人理念「一人ひとりの気持ちに寄り添い その人の望む暮らしができるように 一緒に地域で生きていく」 この理念に沿って、一人ひとりの生活を重要視しながら、またその状況に応じた 支援をし、望む生活の維持を支えていく事を目的にしている。
事業所名	小規模多機能 あったかほーむ愛あい	管理者	湊 広行		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	2 人	人	人	1 人	人	2 人	1 人	7 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	ミーティングを今後も継続し、一人一人の生活が継続できる様にしっかり情報共有する。	定期的にランチミーティング等を実施し、情報共有を図ったが、うまく伝達できていないこともあった。	・エルガナを活用し、情報共有・業務効率化は図られている。 事業所全体でしっかりと取り組まれている。	ミーティングを今後も継続し、一人一人の生活が継続できる様にしっかり情報共有する。
B. 事業所の しつらえ・環境	事業所内の整理整頓を行い、働きやすい環境を作る。 施設周辺の環境整備を行う。	ボランティア活動を通して施設周辺の草取りを実施した。 業務終了後はテーブル上の片付けを実施した。	・人手不足の中、工夫して取り組まれていると思う。	事業所内の整理整頓を行い、働きやすい環境を作る。 施設周辺の環境整備を行う。
C. 事業所と地域の かかわり	継続してしっかりと挨拶を行い、地域との交流を深める。 可能な限りイベントへの協力を行う。	地域の方々へ挨拶のしっかり行えた。少しずつではあるがイベントに参加できている。	・地域行事を把握し、地域の方や民生委員から情報収集を行う。	しっかりと挨拶を行い、地域との交流を深め、可能な限りイベントへの協力を行う。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	挨拶の継続と地域行事、イベントへの協力を行う。	施設行事・イベントを実施することができた。バザーも実施し、地域の方も楽しく参加されていた。	・十分な取り組みがされていると思います。	地域行事、イベントへの協力を行う。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議で地域の方等から利用者様の情報を聞き支援に役立てる。	会議の内容を全スタッフに上手く伝達できなかった。	・事例や活動報告を聞くことができた。 ・会議もですが、研修等もよく参加されていると思います。	運営推進会議で地域の方から利用者様の情報を聞き支援に役立てる。
F. 事業所の 防災・災害対策	民生委員を通して、活動状況等推進会議等で報告し、意見交換を行う。	BCPへの取り組みはできているが、地域住民への報告ができていなかった。	・BCPへの取り組みが素晴らしいと思う。地域とのかかわりもできていると思う。 ・事業所の避難訓練行う時は、高齢者あんしん課にも伝えてほしい。	避難訓練を継続して行い、災害時に対応できるように取り組む。

R6 年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO 法人 あったかほーむ愛あい	代表者	横山美智子	法人・事業所の特徴	「一人ひとりの気持ちに寄り添い、その人が望む暮らしができるよう支援し一緒に地域で生きていく」を事業所の理念とし、地域住民とともに、安心して生活ができるよう地域の力を借りながら、共に生きる場を実現することを目的としている					
事業所名	トムソーヤ	管理者	末永悦子							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	3 人	人	人	1 人	1 人	2 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者の目標（ゴール）の見える化を行い実現に向けて取り組んでいく。引き続き、ランチミーティングやミニミーティングを行い情報の共有に努める	職員の申し送りやミーティングやエルガナの活用で情報共有できた。初回の新規利用者に関しては、ケアマネを通してサマーや基本情報が準備されており事前に確認することができた	あまりできてない、ほとんどできていないにチェックをする職員もいたが、業務を振り返り事業所全体で取り組んでいる証拠だと思う。エルガナの活用で職員同士が共有していることが評価できた。自己評価を行ううえで職員同士の事前の目線合わせができていないのでは？	引き続き、報連相の漏れがないように、ミーティングやエルガナを活用し情報共有の全員周知に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	災害に備えての危険個所の確認、対策を行う。来所者への挨拶、不快な臭いに気をつけ、明るい雰囲気作りを行う。	災害に対し家具の位置を変える対策は行った。玄関から見える場所に花を飾ったり、芳香剤を置き不快な臭いがしないよう気配りを行った	事業所の環境はとても良い空間作りができていると思う。	生産性向上委員会を中心に、事業所の3M（ムリ、ムダ、ムラ）をなくした環境作りにつとめる
C. 事業所と地域のかかわり	にこにこカフェを継続して行く。C・D同様 各地域の高齢者の集まりに利用者と出向く機会を設ける。	にこにこカフェは3回開催できた。地域の高齢者の集まりにこちらから出向く機会はなかったが地域の行事に参加できた	室内も明るく職員の皆さんも元気が良く、とても雰囲気がいいと思う。	にこにこカフェを継続して行く。C・D同様 各地域の高齢者の集まりに利用者と出向く機会を設ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	にこにこカフェを継続して行く。C・D同様 各地域の高齢者の集まりに利用者と出向く機会を設ける。	地域の交流行事への参加も積極的に行うことができた。	地域のイベント等に協力して頂き助かった	にこにこカフェを継続して行く。C・D同様 各地域の高齢者の集まりに利用者と出向く機会を設ける。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事例の紹介を行い取組みに意見を頂く。また、地域の困りごとや地域高齢者の情報収集を行う。	事例を紹介する中で、構成員の方々に利用者の変化や職員のケアの取り組みを知って頂くことができた。また自分達の取組結果の見直しや評価、構成員の方々の意見を聞くことができた	包括や民生委員との交流があり、お互いに情報収集の機会が持ててよいと思う	運営推進会議の中で事例の紹介を行い取組みに意見を頂く。地域高齢者の情報収集を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	月1～2回ライフジャケットの着方訓練を取り入れて行く。避難訓練時に民生委員の方に参加して頂く	定期的にライフジャケットの着方訓練を行い、利用者も地震や津波に対しての心がけはできている。避難訓練は構成員の方には是非参加をお願いしたいと思う	日頃から防災訓練を行っていて、災害発生時に地域の皆さんが頼りにできることが有るというのは心強いことと思う	ライフジャケットの着方訓練及び避難訓練の継続を行い、スタッフ全員が災害時に対応できる取り組みをつくる

R6 年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO 法人 あったかほーむ愛あい	代表者	横山美智子	法人・事業所の特徴	地域密着型で通所・訪問・宿泊・看護の4つのサービスを柔軟に取り入れながら利用者様やご家族が不安のない生活が送れる様に支援しています。 また、医療依存の方や看取りの支援も行っています。
事業所名	看護小規模多機能 音 OTO	管理者	横山麻彌		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	5 人	人	人	1 人	人	6 人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護保険制度や医療制度についての理解を深めるために、音会議などで勉強会を開催し、実践につなげていく。	介護保険改正に伴い、法人内で勉強会を行うことはあったが、事業所内での制度に関する勉強会は行えていなかった。医療面では疾患に対する勉強会は行うことはしていた。	ご意見はなかった。	
B. 事業所のしつらえ・環境	生産性向上に向けた取り組みを行う為、アンケートをスタッフに実施。その結果をうけ年間計画をたて、実践していく。	生産性向上委員会を中心に事業所内の課題を見つけ改善しその結果までを出す事が出来ている。結果が出ている事で、働きやすい環境にもなっており、スタッフ間の意見や提案なども増えてきた。	自分達は空間の事は分からないが、常にスタッフの表情がよいから利用者さんも居心地が良いのだと思う。	
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き、地域の方の交流や家族等の面会を施設の行事などを用いて増やす。	面会制限を解除している為、ご家族の面会回数は増えて来ていると感じる。そのため、連絡ツールで利用者様の様子を報告するだけでなく、面会時にも活動の様子をみてもらったり、状態をこまめに報告する事ができている。	相談しやすい、環境づくりができています。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	積極的に地域の祭り行事に参加していく。面会なども含め、家族や友人、近隣の方、民生委員の方なども施設を知ってもらい取組みを行う。	域交流委員会を立ち上げたことで、地域の行事への参加も積極的に行うようになり、地域の方にも事業所のイベントへの招待も出来てきているため、事業所の事を知ってもらいきっかけになってきた。	医療依存度の高い方たちが利用されているので、出向いて地域のイベントに参加するというよりは、施設側に招いて交流する機会をもうけることをしている。	
E. 運営推進会議を活かした取組み	音 OTO の事例発表を法人内の構成員の方々にも聞いてもらい、事業所の取り組みを報告する。	利用者の事例報告を行う中で、構成員の方々にも変化を知ってもらうとともに、スタッフ間でも自分達の取組の結果を見直したり、評価するきっかけとなっている。	満足度調査を取っているが結果をみんなに伝えることが出来ていない。 どのような事を運営推進会議で行っているのか、みんなに伝えていない（管理者・主任だけで終わっている）。	
F. 事業所の防災・災害対策	継続した訓練を行い、スタッフ全員が臨機応変に対応できるとりくみを行っていく。	定期的に災害訓練を行ったり、実際震度3くらいの地震が起きて津波注意報が出た時も2階に避難する事を実施して新たな課題を見つける事も出来た。	医療品、備蓄などは、大原住宅の3階に何かあった際は、避難できるようになっている。炊き出しなども出来る体制を整えている。構成員のかたも、大原住宅の見学に行くと良いと思う。	